

「社会起業」とは？

先週の土曜日、5月8日に大ナゴヤ大学の通常授業として四つの授業を行いました。

一つ目はNGOの活動との連携授業「あなたもナゴヤのヒーローになれる、ゴミ拾いレンジャー体験」。レンジャー戦隊コスチュームに着替えて街のヒーローになりきり、ゴミ拾い体験をするというものです。普段は行為そのものがつまらないと感じることを「面白い」ことに置き換えるというユニークな着想から「行動」への変容を促す「変換の方程式」や代表者の思いなど、独創的なプログラムを通じて楽しく学ぶ機会となりました。

メッセージが変える価値

身近なコミュニケーション再生

た。授業が実施できました。・として事前にデジタルカメラの「ナゴヤ」だと思っ一枚をばれたのです。純粋な思い。もう一つは「たった一枚」でナゴヤにまつわる10選ぶという内容でした。選に触れて、その場に居合わせた写真は何れもそれぞれたメンバ、生徒さんみれに忘れられないエピソードが秘められていて、大切な思い出のこもったものばかりでした。

ド」の授業。フェアトレードの認知や普及を目指し活動している名古屋の大学生達に「先生」になっていただき、あらかじめ見つけなおすと彼らの目線でフェアトレードについて語っていただき、授業当日は学長として各「先生」をテーマにした「ラボランティアスタッフの様の演技指導で学ぶ、ゴミ子を確認します。できる限りユニケーション授業」では、「まちづくり」には「コミ」をみることを心がけています。

「たった一枚のナゴヤ」授業後のようすが、最後には「大ナゴヤ大学に参加するコミュニティの再生」や「地域よつになり、住んで城資源の発掘」の機会を生み出す。そんな懐かしくて魅力ある場所と人に新しい「学び合い」をより溢れた街だったのか、身近なものにしていきたくと気づくことができています。



【NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク学長・理事長 加藤 慎康】

